

第2回日韓沿岸技術ワークショップが開催されました

9月25日(木)、横浜市山下町のワークピア横浜において、第2回日韓沿岸技術ワークショップが開催されました。

このワークショップは、韓国海洋科学技術院(KIOST)、独立行政法人港湾空港技術研究所(PARI)、一般財団法人沿岸技術研究センター(CDIT)、および一般財団法人みなと総合研究財団(WAVE)の4者の共同開催によるものです。昨年のソウルにおける第1回ワークショップの成功に引き続き、沿岸の幅広い技術課題に対する相互の技術情報の交換・討議を目指したものです。

ワークショップでは冒頭に「セウォル号」海難事故による犠牲者に全員で黙祷をささげました。その後、WAVE 金田理事長による「横浜港と横浜都心の再編成一みなとみらい 21の背景一」と題した基調講演、課題別のセッションなどが行われました。

特に今回は、KIOST 安熙道名誉研究委員が、わが国の平成25年度土木学会国際貢献賞を受賞したこともあり、「韓国における沿岸および海洋資源開発の現在と未来」と題する特別講演が行われました。また日本学士院会員・東京大学名誉教授の堀川清先生もワークショップに駆けつけてくださり、若い技術者の発表や討議を聞いてくださいました。

濃密なスケジュールでのワークショップでしたが、大変有益な情報交換や討議ができました。次回の第3回ワークショップは、来年韓国で開催予定です。



左上：金田理事長講演の様子

左下：安熙道名誉研究委員ご講演の様子

右上：ワークショップ集合写真

右下：(左から) PARI 高橋理事長、CDIT 川島理事長、WAVE 金田理事長と KIOST 宋名誉研究員、廉名誉研究員、安名誉研究員 集合写真